

委員会審査概要

総務水道常任委員会

◆吉川市職員定数条例の一部を改正する条例

人口推移を踏まえ、3年を目安に市長部局を20名増やす根拠は。

職員一人当たり人口の水準を3年後も維持したい。また、各課から20〜30名の増員要望がある。

増員する部署は。

現時点では考えていない。

会計年度任用職員保育士の正職化は考えているのか。

考えていない。

定員適正化計画のこの5年の総括は。

概ね計画通り。職員数について他市と比べても決して多くはない。コストも踏まえバランスを考えながら増員していく必要がある。

正規職員の団体比較は会計年度職員も含めるべきでは。

会計年度職員の団体比較資料

はないが、吉川市は職員全体の半数未満である。

正規職員が増えると、民間委託は進まないのでは。

民間にできることは民間にということでは基本だが、研究・検討に時間を要する。人員配置は定員適正化計画の下、慎重に進めていく。

賛成多数で可決

◆職員の特殊勤務手当に関する条例

どのような仕事を想定しているのか。

5月22日から医師会が実施しているPCR検査の補助業務に従事することを想定。一日当たり3千円ということだが、時間は関係ないのか。その通り。

賛成全員で採決

◆一般会計補正予算

新型コロナウイルス感染症臨時交付金1億8148万円に対して、補

正予算に計上された金額は1億4846万円。残りの事業は9月議会になるのか。

庁内のICT環境整備事業を検討中。内容を精査した上で予算計上したい。

国の第2次補正予算が閣議決定されたが、今後の対応は。

国の第2次補正予算2兆円の詳細は不明。各担当課に事業の検討を依頼している状況。

賛成全員で可決

文教福祉常任委員会

◆吉川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

満3歳未満の子どもの受け皿としての連携施設の現状は。

卒園後の受け皿確保のため、原則、連携施設の確保を義務付けている。対象となる保育所は7つであり、すべて連携施設が確保されている。

賛成全員で可決

◆一般会計補正予算

ここところからの相談事業は、自殺対策がメインの業務であるとの認識でよいか。

新型コロナウイルスに関連して生じる経済、生活問題などにより悩みを抱えた方や、その家族からの相談を受け、心に寄り添い、必要に応じた支援につなげるための事業で、自殺対策の観点も含めた相談業務を行う。

GIGAスクール構想とその進め方は。

GIGAスクール構想については、学校における高速大容量の情報通信ネットワーク環境と全学年の児童生徒一人ひとりがそれぞれ端末を持ち、十分に活用できる環境の実現を目指していく。

タブレット教育を進めていくにあたり、具体的な計画と市内児童生徒のICT環境に関するアンケート結果について。

教職員及び児童生徒については、研修が重要になると考える。この休業中においても教職員についてはオンラインでの双方向でのやり取りの研修を進めてきた。今後もICT支援員の活用も踏まえて教職員の研修を深めていきたい。アンケート結果については、約40家庭が未回答であるが、小学校4398、中学校2143、計約6500家庭のうち、小学校では271家庭、中学校では49家庭、合わせてお

